

2014 年 6 月 16 日
 株式会社 地域経済研究所
 コンサルティング部

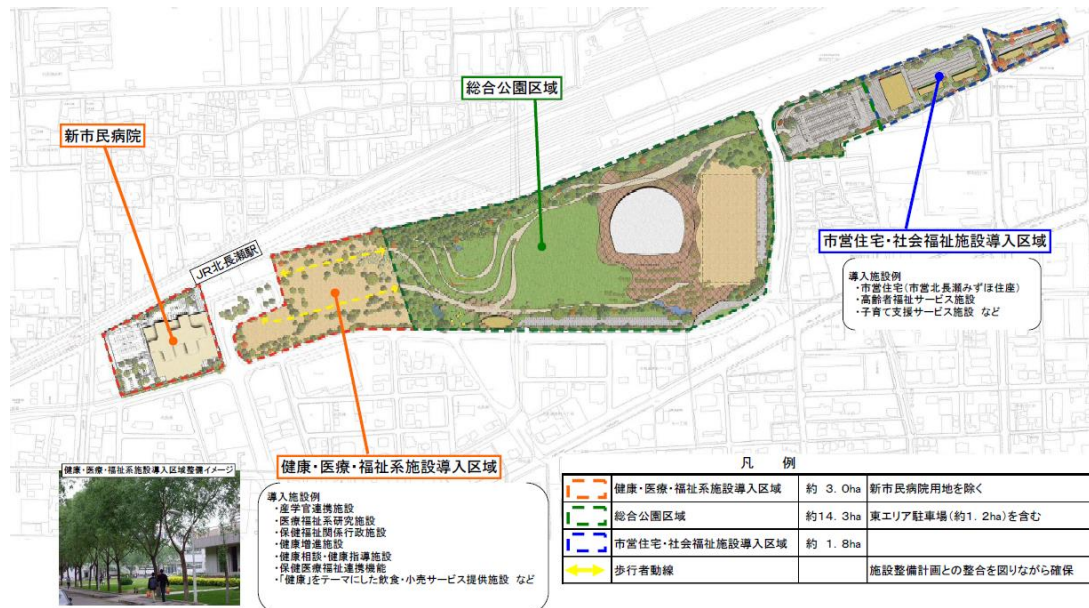
岡山市「北長瀬みずほ住座再生事業（仮称）民活導入可能性調査」地域経済研究所が受託

株式会社地域経済研究所は、この度、岡山市から「北長瀬みずほ住座再生事業（仮称）民活導入可能性調査業務委託」を受託いたしました。

平成 25 年 3 月策定の『岡山操車場跡地整備基本計画』においては、生活支援ゾーンに「高齢者」「子育て」「居住」等の機能を中心に生活支援サービス施設導入の検討を図っていくことになっています。

一方、市営住宅のストックを総合的かつ効率的に活用する観点から、平成 19 年策定の『岡山市住宅基本計画』、『岡山市営住宅ストック総合活用計画』では、「建替」「改善」「維持保全」のグルーピングを行い、「建替」は、拠点性・高度利用可能性が高く、拠点となりうる基幹団地等に、周辺の団地を統合しながら建替えていくことになっています。

こうした中で、本業務においては、建築後 60 年近く経過し、老朽化の著しい基幹団地の一つである「北長瀬みずほ住座」を再整備するにあたり、高齢者世帯や子育て世帯への支援及び地域活動の活性化等、まちづくりの観点にも十分配慮しつつ、隣接する『岡山操車場跡地整備基本計画』における「生活支援ゾーン」に建替整備することの是非、住宅戸数及び併設施設、整備手法等について検討を行い、建替を推進してまいります。



今後も、公共セクター向けの様々なコンサルティング業務を拡充してまいりますので、引き続きご指導頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

以上